

7 新人秘書A子は先輩から、上司に何かを報告するときには、自分の都合だけであるのではなく、タイミングを選ばないといけないと教えられた。そこでA子は、次のような場合は報告をしない方がよいと考えた。中から報告をしてもよい場合を一つ選びなさい。

- 1) 外出から戻ってきた直後。
- 2) 退社しようとして身の回りを片付け始めたとき。
- 3) 面談などが済んで、ゆっくりお茶をのんでいるようなとき。
- 4) 会議が行われる前に、会議資料に目を通していているようなとき。
- 5) パソコンでメールを見た後、浮かない顔をしているようなとき。

秘密とうわさ

8 人事部長秘書A子は、出身校の先輩で入社の際に世話になった営業課のC子から、「今度来る営業課長は誰だが知っているだろうから、教えてもらえないか」と頼まれた。A子は知ってはいるが、このような場合のC子への対応について、次の中から適当と思われるものを一つ選びなさい。

- 1) 「具体的なことは分からない」と言って、話題をそらせるようにする。
- 2) 知っていることを話し、「秘書の立場で知っているのだから不確定だ」とお茶を濁す。
- 3) 出身校の先輩でもあり、A子は知っているので教えてあげるが、堅く口止めしておく。
- 4) C子の上司になる人のことだから話すが、「特で例外的なことだ」と念を押して教える。
- 5) 「私の立場も理解してもらいたい」と言ってはっきりは言わずに、におわす程度にしておく。

上司の補佐役

3 次は、秘書A子が最近行ったことである。中から不適當と思われるものを一つ選びなさい。

- 1) 上司から急ぎでない資料の作成を指示されたが、時間があつたので、すぐに作成して上司に渡した。
- 2) 上司から指示された仕事が急ぎかどうか分からなかったので、いつまでにすればよいかを確認した。
- 3) 出社した上司が、体調がよくないと言ったので、今日のスケジュールはこのままでよいかと尋ねた。
- 4) 他部署の部長から、上司に送った社内メールの返信がないと言われたので、上司に確認をお願いした。
- 5) 上司が昼食に出かけた後、上司の机の上の雑誌が広げられたままになっていたのを、片付けておいた。

4 次は秘書A子が、日ごろ行っていることである。中から不適當と思われるものを一つ選びなさい。

- 1) 上司が何も言われなくて外出しようとしたときは、行き先だけは尋ねるようにしている。
- 2) 上司が外出から戻ってきたときは、言われなくてもお茶やコーヒーなどを入れるようにしている。
- 3) じょうしが出社するまでに上司の部屋を整え終わるように、時間を計算して出社するようにしている。
- 4) 上司は予定を忘れることが多いので、スケジュールは口頭で伝えるだけでなくメモにして渡している。
- 5) 休暇は、上司の業務に支障を来たすことがないように、上司が出張などで不在にする日に合わせて取るようにしている。

指示と報告

5 次は秘書A子が、上司から指示を受けるときに心掛けていることである。中から適当と思われるものを一つ選びなさい。

- 1) 指示された仕事が期限に間に合いそうもないときは、間に合わなくてよいかを確認している。
- 2) 指示を受けていてよく分からないところがあったときは、指示の途中で質問をしていて確認するようにしている。
- 3) 指示を受けた仕事で、やり方が分からなくて先輩に教えてもらいたいときは、教えてもらってよいかと確かめている。
- 4) 指示を受けていてよく聞き取れずに分からなかったときは、支持が終わった後でそれを言って、指示をし直してもらっている。
- 5) 指示を受けたときは復唱しているが、指示が多くて復唱しきれないときは、どのように復唱すればよいかと尋ねている。

6 秘書A子は上司から、「手の空いたときでよいから、これをグラス化しておいてもらいたい」と数字の書かれたメモを渡された。それほど時間がかかりそうにないことだったので、今している仕事を済ませてからにしようとそのままにしてあいた。ところが、しばらくして上司から「できたか」と催促された。この場合A子はどのようにすればよかったか。次の中から不適當と思われるものを一つ選びなさい。

- 1) それほど時間がかかるものではなかったのだから。指示を受けたときにすぐに行えばよかった。
- 2) 指示を受けたときいつまでに必要かを尋ね、それによって今している仕事の途中でも行えばよかった。
- 3) 指示を受けたとき、今している仕事が終わる時間を言ってその後も間に合うかを確認しておけばよかった。
- 4) 指示を受けたとき、手の空いたときというあいまいなことでなく何時までにと伝えてもらいたい、と言えばよかった。
- 5) 手の空いたときでよいということであっても、それをうのみ*にするのではなく手の空く時間を伝えて確認すればよかった。

*「うのみ」とは、物事の真偽をよく考えずそのまま受け入れること